

平成26年度公共事業再評価諮問地区「継続」理由書等

(課名： まちづくり推進課 )

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>街路整備事業 内町迎田線</p>
<p>継続理由</p>	<p>本路線は、武雄市中心市街地を南北に結ぶ重要な幹線街路であり、温泉街・商店街を観光客や地元住民が行き交う道路である。しかし、現道は狭小で歩道が未整備であり、自転車・歩行者の交通安全及び円滑な交通の確保は喫緊の課題である。</p> <p>このため、JR佐世保線武雄温泉駅付近連続立体交差事業及び武雄北部土地区画整理事業に合わせ、当区間の街路整備を実施することで、自転車歩行者の交通安全及び、円滑な交通を確保するものである。</p> <p>平成25年度末時点において、事業費ベースで75%完了している状況であるが、交差点を含む区間が未整備であり、円滑で安全な交通の確保ができていない。</p> <p>今後、事業効果を発現するため、事業を継続する必要がある。</p>
<p>B/Cの 算出方法</p>	<p>整備による「便益(B)」については、道路の供用開始より50年間で生じる、「走行時間短縮」「走行経費減少」「交通事故減少」の便益を合計したものにより算出している。</p> <p>また、「費用(C)」については、「道路整備に要する費用」と「整備後50年間の維持管理費」により算出する・</p> <p><b>【便益B】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行時間短縮便益 = 6.84 億円</li> <li>・ 走行経費減少便益 = 0.77 億円</li> <li>・ 交通事故減少便益 = 0.32 億円      合計 = 7.93 億円</li> </ul> <p><b>【費用C】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業費 = 5.44 億円</li> <li>・ 維持管理費 = 0.22 億円      合計 = 5.66 億円</li> </ul> <p>費用便益(B/C) = 1.402</p>
<p>備考</p>	

平成26年度再評価対象事業  
(対象：平成21年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)
12	再評価時点	内町迎田線 街路整備事業	当路線は、武雄市中心市街地を南北に結ぶ重要な幹線道路である。当区間は、武雄市役所に隣接する中心市街地に位置することから、区間内の交通量は年々増加の一途をたどっているが、現道は狭小で歩道もなく、JR佐世保線の踏切と相まって交通混雑が慢性化している。 また、沿線は商店街であるため買い物客も多く、自転車・歩行者と自動車とが輻輳し危険な状態となっている。 このため、別途事業の連立立体交差事業に合わせ、当区間の街路整備を実施することで、自転車歩行者の交通安全及び、円滑な交通を確保するものである。	全体事業費：5.0億円 全体延長：235m 計画幅員：20.0m 工期：H12～H22 事業認可：H11～H22	H20末進捗率 34.0% (事業費ベース) (年平均進捗率 3.8%)	・交通量の推移 H11 8,871台/12h ↓ H17 8,498台/12h	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。  B/C=1.2	(コスト削減) ・コンクリート二次製品、リサイクル材の積極的活用  ・建設副産物の有効利用  (代替案の検討) ・特になし	10年以上 継続	継続
	現時点	同上	同上	全体事業費：5.44億円 全体延長：235m 計画幅員：20.0m 工期：H12～H27 事業認可：H11～H27	H25末進捗率 75.0% (事業費ベース) (年平均進捗率 5.7%)	・交通量の推移 H11 8,871台/12h ↓ H17 8,498台/12h ↓ H22 7,954台/12h  連立立体交差事業の完了に伴い、交通量の増加が予測される。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。  B/C=1.4	同上	再評価実施後5年 が経過	継続  現在も歩道未整備区間が残っており、事業目的である歩行者及び自転車への安全確保が達成できていない。今後、事業効果を発現するため、事業を継続する必要がある。
	理由等			【事業費増の理由】 補償対象物件調査の結果、補償費が増加することとなったため。 【工期の延長理由】 商店・店舗等の用地・補償交渉の遅れによる。						